

超 我 の 奉 仕
SERVICE ABOVE SELF

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121
 会長/秋山 勤 幹事/松尾康弘 会報委員長/播谷建郎 姉妹クラブ:台北 西北区 扶輪社
 委員/野田 倉内 双子クラブ:インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC

No.9 平成17年 9月 14日

本 日 の 卓 話
9月14日(水)
「ベトナム事情」
簡 仁一 会員

出席報告

第2251 回例会			前々回(第2249 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
32 (8)	17	7	70.83 %	4	83.33 %

例会記録

第2251 回例会 9月7日(水)晴
 ロータリーソング「我等の生業」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 井上暎夫様(RI第2660地区パストガバナー)

- 9月会員誕生 日野岡、掛谷、朱、辰巳
- 9月配偶者誕生 高島邦子、山田晴義、橋本律子
 菊山恵子、日野岡ひとみ、
 久保秀子、戸川聖子、山道悦子
- 9月結婚記念 山田
- 9月入会記念 橋本(淳)、河原崎

会長の時間

秋山 勤会長

井上PGお忙しい中を、卓話において頂き有難うございました。

心配した台風14号の影響も殆ど受けることなく済み、幸いでした。被災地の方々には、心から同情申し上げますとともに1日も早い復興をお祈り申し上げます。ハッキリ かりに被災地の皆様にも同様に、早速、義捐金集めに掛かりたいと思います。



インドネシア・台湾訪問壮行会

ご協力をお願いします。

9月は、「新世代のための月間」です。井上PGから、いろいろな話を聞かせて頂けると、楽しみにしています。

9月は、国際的にも忙しい月になりそうです。一週間かけて、インドネシア・バリ島のバリテイ・マンガラ小学校へ学用品を届けた後、姉妹クラブの台北西北RC45周年記念式典に参加して来ます。また、同行するローターアクト2名とともに、デンパサールRACとの交歓会にも出席してくる予定です。

9月3日橋本陽二増強委員長と、会員増強セミナーに出席してきました。

会員増強のためのアンケート調査を始めたいと思います。ハッキリ 「カトリーナ」被災者義捐金と共によろしくお願いします。

幹事報告

松尾康弘幹事

1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) RI国際大会の案内 2006/6/11~14
於：スウェーデン・マルメデンマーク・コペンハーゲン
参加型討論(識字率向上・水保全・ローラーの公共イメージ)
- 2) 秋の全国交通安全運動がスタート、なにわエコウィーブ(なにわエコ会議の情報誌)
- 3) 第3回ローラー囲碁東京大会の案内
10/29(土)於：東京・市ヶ谷日本棋院会館
- 4) 2008-09年度ガバナー・ミニ候補者推薦書提出の案内 10/31締切
- 5) 大型ハケソ「カリナ」に対する義援金のお願い
- 6) 青少年交換プログラム配布
- 7) ザ・ローラー9月号

2、第3回理事会報告(9月7日開催)

- 1) 秋山会長挨拶
- 2) 10月度プログラムの件 承認
- 3) 職場訪問の件 承認
10月19日 10月22日(土)移動例会とする
三重県松阪の「エスカルゴ牧場」の見学
- 4) 水資源プロジェクトの件 承認
(久保国際奉仕副委員長)
インドネシア・バリ島バングリ県キンタマニ区ステル村の水のパイピングの援助
条件が合えば茨木RC、高槻西RC、デンパサール・コタRCでマッチンググラントの申請をしたい
- 5) 指名委員会委員選出の件 承認
秋山会長に一任
- 6) 茨木市美術展に伴う賞の提供の件 承認
5,000円×4点
- 7) その他
・外郭団体事務局員親睦旅行の件 承認
(9/30~10/2)9/30(金)は事務局お休み
・大型ハケソ「カリナ」に対する義援金のお願い
一人2,000円以上をお願いする 承認
- 8) 長澤直前会長講評

卓話

「新世代のための月間によせて」

RI第2660地区 井上暎夫パストガバナー



9月が『新世代のための月間』であることはよく知られております。

しかし、各クラブがこの月間、会報や広報資料に『各ロータリアンは青少年の模範』の標語を使う事をロータリー章典によって奨励されている事はあまり知られておりません。

この標語によれば、この9月はロータリアン各々が自らを省みて模範足り得るかを問う月間という事にもなります。

当地区には、他地区には無い新世代合同委員長会議という組織があります。これは1997~98年度に当時の近藤ガバナーの提案により設置されましたものです。

RIは新世代のプログラムをインターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換の4つとしておりますが、これに財団奨学生・学友、GSEと日本独自の米山奨学生・学友を加え、縦割り組織の弊害を無く、し青少年のロータリーに対するかかわりをより複合的に、より長く持ってもらうとの願いをこの組織に込めております。

幸いこの各委員会間の情報交換や協力体制はよく機能するようになり、永年続けてきた成果が見られる事はうれしい限りです。

さて、最近よくニートという言葉をよく耳にします。Not in Employment, Education or Trainingの略で職につかず、学校にも行かず、就労に向けた動きも無い若者を指します。

政府の集計によると15歳から34歳のニートと呼ばれる人は64万人と推定され、10年前より20万人増加し、今後も増加傾向にあると云われております。文科省は今秋を目途に初の実態調査に乗り出す事に決めました。

労働政策研究・研修機構の小杉礼子先生はニートを4つに類型化しております。

1. ヤンキー型 反社会的で享乐的 今が楽しければというタイプ
2. ひきこもり型 社会との関係を築けず、こも

ってしまうタイプ

3. 立ちすくみ型 就職を前に考え込んでしまうタイプ

4. つまづき型 一旦は就職したものの早々に辞め、自信を喪失したタイプ

であります。

この原因を東京大学玄田助教授は経済状況、産業構造の問題とし、年齢、技術・技能、にミスマッチがあるとし、特に、希望するものが無い、何をしたいかが分からないといった心のミスマッチを指摘しています。

技術・技能については、取得意欲さえあれば政府も都道府県も色々な施策をしておりますが、問題はその意欲をいかに目覚めさすかにあります。

7月に大阪商工会議所、大阪府、大阪市などが若年層の就労意識を高めてもらう「大阪キャリア教育支援ステーション」を開設、小・中・高校を対象に社会人講師の紹介や就業体験を支援することとしました。

実はこの分野でロータリーはその先駆者であります。

わが地区でも、例えば豊中RCが出前授業を、吹田西RCが職場体験を実施しております。日本国内でも素晴らしい成果を上げている地区があります。例えば、第2770地区(埼玉県)は3日間の職場体験提供事業所一覧や中学講話人材名簿を作成し、県下の学校にその活用を呼びかけ成果をあげております。

申し込みが地元ロータリークラブとなっているのも、素晴らしいことです。

ニートと呼ばれる人のうち、たちすくみ型や、つまづき型についてロータリークラブが果たせる役割はかなり大きいと考えます。

なぜなら職業奉仕を標榜する奉仕団体は、唯一ロータリークラブしかありません。

2770地区の例で云いますと、職業奉仕委員会が担当をしておりますが、ロータリーの活動に垣根を持ち込む必要はありません。

新世代委員会と一緒に奉仕すれば、素晴らしい活動となることでしょう。

私達も縦割り組織に拘らず、現代の事象に対し、複合的に対応する必要を痛感いたしております。

ニコニコ箱

戸川副S.A.A

配偶者誕生を記念

久保、戸川、山田

結婚記念

山田

井上PGより卓話お礼をニコニコに頂きました

井上PGお忙しい中有難うございました 秋山

井上PGに久し振りにお会い出来ました

橋本(陽)

井上PG卓話ありがとうございました 簡
インドネシア・バリと台北へ行ってきます 久保
井上PG卓話ありがとうございました 中西
会社設立50周年記念を9/2に迎えました
岡野会員他当ホテルにはお世話になりました

中西

井上PG卓話を有難うございました 大森
簡会員笠原会員 地区委員会に代理出席お願いし
申しわけなく存じます 大森

すがらしい卓話を有難うございます 辰巳

「ダメ。ゼツタイ。」国連支援募金 ￥16,246

本日計 72,246円

累計592,246円

次回卓話

「5分間スピーチ」

長澤、久保、野田、吉田各会員

三二情報

ロータリー奉仕理念の流れ

1992年5月9日

国際ロータリー第2660地区

ガバナーノミネー 山 中 文 和

1. 古典ロータリーの時代

905年2月23日、経済恐慌で人心の荒れすさんでいたシカゴで、友人もいなかった弁護士のパール・ハリスが、

職業の異なった人達が、会合を持ち
お互いに扱う品物を分かちあうなど
助け合って、親しく、仲良く

という目的で、まず4人で発会した。

定期に2回、3回と回を重ねる毎に、職業を異にする会員が増えていったが、あくまでもこれは、先着優先の異業種同志である。

そのうちに、貧しい新聞少年を労ったり、半農の牧師を助けたり、市内各所に公衆便所を設ける市民運動を仕掛けたりするようなクラブになっていった。

この時点で既に、例会出席の義務と1業種1会員の制度は守られていた。

1906年の秋ごろには、会員間の物質互恵だけで

なく、人のため、世の中のためになろうとする
気運が生まれてきた。

この様子をポール・ハリスは、後年のその著
書で、「ルネッサンスの足音は、1906 年の後半
ころから聞こえ始め、1907 年に入って、その響
きようやく高く……」
と回顧している。

1907 年 1 月には、ポール・ハリスはシカゴ・ク
ラブの第 3 代会長に就任したが、ここで、ポー
ル・ハリスは「人のため、世のため」という考
えを一步踏み込み、クラブ内のみの物質互惠、
相互扶助に止まらず、綱領に「シカゴ市の利益
を推進……」の 1 項を加えるなど、内部の

親睦より外部への「心尽くし」を熱心に唱え始
めるに至った。

このようにポール・ハリスは、例会ごとに
「人のため、世のため」を説いて飽くことがな
かったので、クラブ内の親睦を第 1 義とする多数
の会員からひんしゆくを買う羽目となり、気ま
ずい雰囲気が出来上がることになる。

その空気を和らげるために、皆で歌をうたう
習慣が出来上がったりしたが、ポール・ハリス
によると「この状態は 1913 年まで続いた。」と
言っている。